

# 那覇西 LEGEND

沖縄県立那覇西高等学校  
発行者:校長 仲吉 健一

【校訓】

じりつ



## 校長便り "Go for Win"

### 【令和7年度 1学期始業式にあたって "応援される人"になろう!!】

#### 始業式 就任式



4月号では誌面の関係で取り上げることが出来なかったのですが、今月号で私(校長)が始業式(4月7日)に伝えた話を少し紹介したいと思います。私もいよいよ今年度が校長として最後の年になりました。新2・3年生に対しては、昨年度の年度末の修了式で紹介した大谷翔平選手が高校1年生の時に作成した曼荼羅チャートの中に出てくる「応援される人」について具体的に伝えました。「**応援される人**」になる為に必要なことは「**笑顔、思いやり、ひたむきな努力**」の3つであると話し、「**笑顔**」とは、周りの出来事や状況によって機嫌を左右されず、いつも「**明るくいられる人**」になること。「**思いやり**」は、「**もし自分があの人なら**」を考えて、相手の望むことをしてあげられる優しさ。そして「**ひたむきな努力**」は、目の前にあるすべきことに誠心誠意取り組む姿。この3つが人が応援したくなる人に共通することだと思います。そういう私も、この情報がある素敵な先生から教わりました。私も応援してもらっているからこそこの情報です。(出典は喜多川泰さんのメルマガです) **那覇西高生の皆さん、周りから応援され、周りを応援する人になろう!**

### <新入生・2学年・3学年 オリエンテーション>「那覇西LEGEND」の担い手となれ!

4月9日(水)に全学年ごとに本校体育館でオリエンテーションを実施しました。2学年が1校時、3学年が2校時、そして新入生である1学年が4校時～6校時に掛けての実施です。2学年、3学年では進路指導部及び生徒指導部からの確認を含めた新たな自覚を促す話しをして頂き、1学年は今年度も昨年度同様に体育館へ全員机と椅子も搬入し、授業の開始及び終了時のあい



さつから始まり、那覇西高校での新たな高校生活がスムーズにスタート出来るよう工夫した形での開催でした。1学年に対しては、私の方からは「**分かち合うことに喜びと価値を見いだせる知恵こそが応援される人**」の話しをし、各部の先生方からも那覇西高校で充実した学校生活を送るための様々な話しをして頂きました。きっと、このオリエンテーションを通して、更に**那覇西高校の一員としての自覚と誇りが深まったこと**と思います。話しをして頂いた、**進路指導部、生徒指導部、教務部、環境保健部の先生方**、本当にありがとうございました。そして、今回の素晴らしい企画運営をして頂いた**各学年主任の正樹先生(2学年)、俊哉先生(3学年)、芳和先生(1学年)**も、本当にお疲れ様でした!



### 【特進クラス(各学年の6組)集会】

4月30日(水)に特進クラスの集会を開催しました。これまでにこうした集会をなかなか持つことが出来なかったのですが、**大学進学を志す特進クラスの生徒への自覚を促すと共に激励と応援を込めて進路指導部に開催して頂きました**。私(校長)からは自分自身の体験を基に「**大学での学びの広がり**」について話し、**最後まで学び続ける意義と行動する大切さ**を説きました。**これからも定期的に開催し、進路指導部の先生方を含め多くの先生方から継続的な激励を行って参ります。頑張れ、特進クラスの生徒たち! 開催してくれた貴洋先生、清悟先生、本当にありがとう!**



### 【キャリア教育推進事業】

4月16日(水)に県立学校教育課による「**キャリア教育推進事業**」を活用して、**9名のキャリアコンサルタントの方々に各クラスに入ってもらい、キャリアパスポートを含め、今後の進路実現に向けた心構えや取組について話しをして頂きました**。高校3年間をどう過ごすのかが大きなポイントとなりますが、今回の各クラスでの講話はとても参考になったと思います。1年生のみんな、社会貢献出来る「**那覇西LEGEND**」の人材となれ! 企画運営して頂いた**健太郎先生**、本当にありがとう!





## 【1年生対象 Classi 説明会】

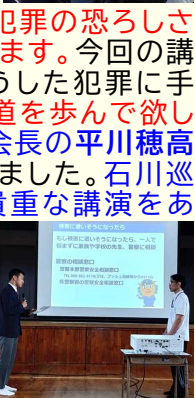


4月10日(木)の4校時に本校体育館で新入生対象にClassiの説明会を開催しました。講師にベネッセコーポレーションの志茂陽平様をお招きし、活用方等について具体的にお話し頂きました。Classiを通して家庭学習や自主学習の定着を図ると共に様々な場面で積極的にタブレット端末を使用するきっかけとなってくれればと思います。講師を務めて頂きました志茂さん、企画・運営してくれた清悟先生、本当にありがとうございました。



## 【サイバー犯罪講話】

4月17日(木)に本校体育館で、沖縄県警察本部サイバー犯罪対策課の石川翔太巡査部長を講師として「サイバー犯罪講話」を実施しました。具体的な犯罪例を基に、身近に潜む危険性を分かりやすく説明して頂き、SNSを始めとしたサイバー犯罪の恐ろしさを那覇西高生全員が実感したと思います。今回の講演をしっかりと心に刻み、決してこうした犯罪に手を染めないよう、真っ直ぐに正しい道を歩んで欲しいと思います。生徒を代表して生徒会長の平川穂高くんも素晴らしいお礼を述べてくれました。石川巡査部長、本当に貴重な講演をありがとうございました。企画運営して頂いた安裕先生も本当にありがとうございました！



## <R7年度 第1回国際人文科集会>

On the 23rd of April, we held the first assembly of International Humanity Course. I was asked to encourage the students, and I compared language learning to swimming.

*"Even though you have a good knowledge of grammar, usage and vocabulary, if you don't use them in real English communication, you will never master English. So in this respect, Naha-nishi is your water or your big swimming pool where you might be drowned after struggling about English. But this is the very important process to improve your English. So when you are drowned in the big pool called "English", please ask your teachers for help. All the English teachers and ALTs at Naha-nishi are great teachers who inspire you, and I'm very proud of them."*

*I'm sure you are very lucky and happy to learn English with such superb and wonderful teachers."*



I wish you all the best!

## 【対面式・部活動紹介・HR役員認証式】



4月11日(金)に対面式・部活動紹介を、そして15日(火)にHR役員認証式を体育館で開催しました。11日の対面式・部活動紹介は、私(校長)が研修会のために終日出張だったので、実際に見ることは出来なかったのですが、1年生それぞれのクラスがこれからの抱負をしっかりと述べ、部活動紹介もしっかりとした好ましい形で、新部員やマネージャーの勧誘をしていたとのことでした。15日のHR役員認証式では、リーダーの導き方次第で集団の力の発揮の仕方も変わる趣旨に話をして激励しました。今年行事の持ち方も変わりますので、是非、那覇西を更に盛り上げる活躍を期待しています！ Go for Win!



## 【ドイツからの留学生】

今年度も昨年度に続いてYFU(留学幹旋団体)からの留学生を約1年間弱(4月～1月)受け入れることになりました。ドイツのベルリンからの来たモンガード・キエルくんです。二年生の国際人文科に所属して、本校の生徒と同様に授業を始め、様々な教育活動に取り組んで参ります。ドイツのことをたくさん学ぶ機会と共に日本や沖縄のことを多く学んでもらいたいですね。那覇西での経験が生涯に渡っての素晴らしい経験となるように願っております。そして、将来ドイツと沖縄との架け橋的な人材になってください。「那覇西LEGEND」を目指せ、キエルくん！とてもハンサムで人気者になりそうです。



## Music for Your Pleasure (今月の音楽)

### ハイドン 弦楽四重奏曲第77番「第2楽章」



今年度ドイツからの留学生であるキエルくんを受け入れたので、彼の故国であるドイツに纏わる音楽を紹介したいと思います。このハイドンの弦楽四重奏曲第77番の第2楽章は現在のドイツ国歌(元はオーストリア国歌でハイドン作曲)の主題の変奏曲となっております。厳かな旋律で耳にした瞬間から背筋を伸ばしたくなる程、崇高で高貴な響きがとても印象的です。合奏による主題の提示後、第1ヴァイオリンのオブリガードを伴った第2ヴァイオリンによる主題の演奏の後、それをチェロ、ヴィオラがリレー方式で受け継ぐ様は、さながら歴史と文化の継承を感じさせ、音楽による優しい語り部のようです。時にはこうした音楽に身を浸し、精神の浄化と共にドイツへの思いを馳せるのも一興ではないでしょうか。